

教育委員会事務局学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

令和2年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	13	319	13	324		5	細田 昌之
義方小学校	21	455	21	449		△6	神庭 誠
啓成小学校	15	286	14	276	△1	△10	藤田 耕一
就将小学校	18	345	18	346		1	住田 秀二
車尾小学校	20	475	22	513	2	38	永井 修
福生東小学校	22	564	24	533	2	△31	藤原 敏朗
福生西小学校	13	253	12	251	△1	△2	野村 洋文
福米東小学校	25	616	26	607	1	△9	塚田 和彦
福米西小学校	24	624	26	632	2	8	井口 恵美子
加茂小学校	22	526	23	530	1	4	吉田 誠克
河崎小学校	8	194	10	199	2	5	坂井 明美
住吉小学校	27	643	24	626	△3	△17	村中 祥宏
尚徳小学校	10	196	9	189	△1	△7	河上 裕
五千石小学校	7	134	8	123	1	△11	戸谷 譲司
彦名小学校	13	218	11	211	△2	△7	松嶋 和広
崎津小学校	9	138	8	139	△1	1	小谷 良夫
大篠津小学校	8	86	8	86			池山 圭吾
和田小学校	9	81	9	90		9	内田 弘之
弓ヶ浜小学校	22	478	21	477	△1	△1	山本 美江
成実小学校	8	150	8	153		3	森本 繁
箕蚊屋小学校	15	287	15	275		△12	村田 誠
伯仙小学校	17	388	17	385		△3	坂本 貴俊
淀江小学校	21	520	21	513		△7	土江 紀行
合 計	367	7,976	368	7,927	1	△49	

イ 中学校

令和2年5月1日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	15	380	15	381		1	高多 宏樹
福生中学校	13	350	14	366	1	16	長尾 修
福生中学校いずみ分校	3	10	4	8	1	△2	長尾 修
福米中学校	20	582	21	566	1	△16	藤原 建
湊山中学校	13	309	14	310	1	1	足立 祥一
後藤ヶ丘中学校	21	544	21	531		△13	松尾 直樹
美保中学校	9	165	9	166		1	安次 里絵
弓ヶ浜中学校	14	348	15	354	1	6	勝本 秀人
尚徳中学校	12	271	11	260	△1	△11	金川 朋史
加茂中学校	14	363	13	344	△1	△19	小谷 斉
淀江中学校	11	237	11	251		14	宇城 明
合 計	145	3,559	148	3,537	3	△22	

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	18	457	18	468		11	福田 知浩

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 17校

臨時訪問校 35校

イ 知能検査、性格検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 小・中学校全学年に性格検査実施

ウ 各種体育大会への助成

中学校対外競技における西部地区大会等出場に対する助成

(3) 研修関係

教員の派遣研修

ア 小・中学校管理職研修会（8月）

イ 小・中学校教頭研修（7、8、11月）

ウ 小・中教務主任研修会（小：6月、12月 中：7月、12月）

エ 特別支援教育研修会（6月、3月）

オ 小・中学校人権教育研修講座（9、10、11月）

(4) 障がい児の就学指導

障がい児の就学指導

米子市教育支援委員会を8月、10月、11月、1月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

(5) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の適応指導教室において、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習支援、自立支援を実施した。

(6) 学校評議員制設置事業

地域住民の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等から学校評議員を委嘱し、意見を聴き学校運営に反映した。

(7) にこにこサポート支援事業

小学校23校及び中学校10校に学校支援員を配置し、個別の支援が必要な児童に対して学習上の困難の改善や克服に適切な指導を行った。

(8) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー3名の配置、及び、専門的知見を有するスーパーバイザーを外部委託し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(9) 通級指導教室整備事業

明道公民館3階と市内小中学校に通級指導教室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援

を行った。

(10) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1・2年生は1学級30人、3年生から6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（14校22人）に要する人件費の一部として4,400万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(11) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生は1学級33人、2・3年生は1学級35人）の実施に伴い、2・3年生の加配教員（7校14人）に要する人件費の一部として2,800万円を鳥取県に寄付した。（加配教員1人当たり200万円）

(12) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

6名の英語指導助手が市内小学校・中学校の巡回英語指導を実施した。

(13) 要保護・準要保護児童生徒扶助費支給状況

準要保護児童生徒の保護者に対し、新入学用品費、新入学準備金、学用品費、修学旅行費の一部、医療費及び給食費の一部を支給し、要保護児童生徒の保護者には、修学旅行費及び医療費を支給した。

また、小中学校の臨時休業期間において、給食費相当額を支給した。

区 分	対象延べ人員		支給金額（単位：円）
	要保護	準要保護	
小学校	46	1,629	100,071,636
中学校	27	829	72,466,649
合 計	73	2,458	172,538,315

(14) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	6	6	0	6
中学校	0	0	0	0
合 計	6	6	0	6

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分	対象者数	受検者数	要精検者数	
小学校	第1学年	1,367	1,356	24
	第4学年	1,311	1,311	29
中学校	1,241	1,233	36	
合 計	3,919	3,900	89	

ウ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	7,927	7,916	2	62	20
中学校	3,537	3,498	0	66	6
合 計	11,464	11,414	2	128	26

(15) 教職員定期健康診断

ア 定期健康診断

教職員を対象に定期健康診断を実施した。

区 分	受検者数
小学校	465
中学校	258
合 計	723

イ 結核健康診断

教職員を対象に胸部エックス線検査を実施した。

区 分	受検者数	被発見者数
小学校	453	0
中学校	253	0
合 計	706	0

ウ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線透視撮影を実施した。

区 分	受検者数
小学校	188
中学校	111
合 計	299

(16) 学校災害共済加入状況

日本スポーツ振興センター災害共済

区 分	対象者数	加入者数	発生件数	受給件数
小学校	7,928	7,927	430	578
中学校	3,537	3,534	372	670
合 計	11,465	11,466	802	1,248

(17) 通学費助成事業

淀江小学校に通う佐陀地区在住の小学生（1年～3年生）の保護者に対して通学用バス定期代の一部を補助し、経済的負担の軽減を図った。（※本宮地区については、該当となる中学生がいなかったため、補助を実施しなかった。）

区 分	対象児童（生徒）人数	支給金額（単位：円）
小学校	81	1,121,040
合 計	81	1,121,040